



小倉ロータリークラブ 週報

RIテーマ：“ロータリー：変化をもたらす”

RI会 長：イアン H.S. ライズリー 氏
(所属：サンドリンガム RC)

地区テーマ：“拡がりは変化をもたらします”

地区ガバナー：安増 惇夫 氏(所属：宗像RC)

クラブテーマ：“ロータリーの輪を拡げる”

会長 荒木 英生 / 幹事 合馬 誠一



表紙写真(テーマ/庚申堂)

八坂の塔下の庚申堂は、見ざる言わざる聞かざるの三猿をシンボルにした装飾が本堂の上に取り付けられています。延宝年間に建立されていますので、350 年前にしては斬新な猿のデザインですね。

【撮影：辰巳会員 京都にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : krpc@rid27.jp

事務局 北九州市小倉北区浅野 2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉 2F

TEL (531) 1727 FAX (522) 4333

会報・雑誌 委員会 委員長：増田 雄一

副委員長：豊川 智彰

委 員：高取 亮・村上 公幸・渡邊 昌春・松田 恵作・辰巳 和正

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 第3356回

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・青少年関係の卓話

第2700 地区インターアクト副委員長
林 寛之 氏

第3354回 例会 記録

4月27日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “四つのテスト”
- ・地区協議会報告

と呼び、山を足立山という、湯川の水神社にその泉が残る等々、小倉には色々な話が残っています。翌770年に称徳女帝が亡くなると、道鏡は失脚して清麻呂は復権しました。そして同年妙見神社を建てています。道鏡が失脚した後は下野薬師寺別当になっています。2年後の772年に亡くなっていますが、この寺は奈良東大寺、大宰府観世音寺と並んで、当時日本に3カ寺あった戒壇の一つでした。一方、清麻呂は有能な土木官僚だったらしく、大阪大和川の改修等を行った後、桓武天皇に平安京遷都を進言し、計画立案にも関わっています。今の京都の生みの親の一人です。清掃登山では狛犬ならぬ狛イノシシをぜひご覧ください。

会長の時間

荒木 英生 会長

明日からゴールデンウィークが始まります。次回の例会は、5月11日の例会を5月13日の清掃例会に変更しています。スタート地点の忠霊塔からすぐに妙見神社を通ります。境内に和気清麻呂の像がありますが、私や坪根副幹事の家近くにはさらに2か所に像があります。清麻呂といえば、769年に孝謙・称徳女帝が弓削の道鏡を自分の後継にするために仕組んだ宇佐神託事件で失脚しました。イノシシに助けられ、泉に足を浸したところ足が立つようになったので、地名を湯川

幹事報告

合馬 幹事

・本日、例会終了後に、「次年度の役員及び委員長・副委員長会議」を行います。15分程ですので、ご担当の方はそのままお残り下さい。

・来週の例会は、祝日の為お休みです。

・その次の週の11日(金)は、例会変更のためお休みです。13日(日)は清掃登山ですので、ぜひご出席下さい。5月7日(月)が締切です。集合場所は、足立山麓の忠霊塔です。

・第2700地区より、当クラブ会員3名に次年度の地区

組織に関する委嘱状が届いています。原田光久会員に広報・IT・会報委員会カウンセラー、青木会員に広報・IT・会報委員会委員、小島庸匡会員に米山記念奨学委員会委員を委嘱されました。

出席報告

加藤(守) 委員長

2017年7月1日：63名でスタート

	会員数	出席者数	メイクアップ	出席率
当日の出席	67名	40名	—	65.57%
先週の出席	67名	40名	25名	96.72% 修正後

◆ゲスト 0名

◆ビジター 0名

ニコニコ献金

高山 SAA

22,000円：累計金額 574,258円

荒木 英生 君

水曜日に高校軟式野球九州大会決勝戦がありました。明治学園はエースが筑陽学園を1安打に抑えましたが、押し出しの1点が決勝点となり、0-1で惜敗して準優勝でした。子供は控えキャッチャーでベンチ入りしていましたが、準決勝でファーストが靱帯を怪我したため決勝では急遽ファーストでスタメン出場しました。怪我をした3年生は本当にかわいそうなのですが、1年生のデビュー戦がいきなり九州大会決勝で持ってるなと思いました。

原田 光久 君

①村上充生さん、アクロス福岡の会議の帰途のステーションホテル小倉の八くらでは、あなたと高山さんの3人の席。ごちそう様でした。

②福岡経済同友会の総会でのトヨタ自動車の葛巻清吾常務理事の自動運転についての講演を聴き、慎重の上にも慎重を心掛けようと思いました。

③同友会の後の時間の博多壺天会では、小倉RCに以前いらした牛島健五、由良範隆、吉田恭之の皆さんにお目にかかりました。

④加藤守夫先生、歯の治療有難うございます。『足立山麓の史跡を探る』を下さり、有難うございました。

天ヶ瀬 洋正 君

①4月24日で、小倉RC入会丸20年となりました。木曾さんに、お祝いの秋田のお酒をいただきました。有難うございました。

②長女が4月1日付で立命館大学薬学部専任准教授に就任し、新しいラボを立ち上げました。同時に、京都薬科大学客員教授にも就任しました。今後、二つの大学で研究、教育に活躍することとなります。

佐久間 庸和 君

①今月より、上智大学の客員教授となりました。儀式などの講義を担当します。東京に行く機会が増えます

が、なんとか例会出席がんばります！

②中央ヨーロッパに行ってきました。ブダペスト、ウィーン、ザルツブルク、プラハを回り、キリスト教文化を学びました。収穫多し、でした。

高橋 智彦 君

業務都合により中途退席させていただきます。ペコペコです。

山口 幸之助 君

スミマセン、本日所用により中途退席します。ペコペコです。

緒方 公一 君

中途退席します。ペコペコです。

クラブ協議会出席者一同

会合後のお疲れ様会の残金をニコニコします。

委員会報告

次年度役員

角南次年度会長

①4月23日、次次年度に開催されるIM・及び70周年事業に関して、小島さん・二村さん・天ヶ瀬さん・加藤(守)さん・八尋さん・坪根さん・角南の7名にて、両事業の発起人会を開催しました。この中でとりあえず、IM及び周年事業の企画委員会を作りました。委員長は松本さんで、他12名の委員を選ばせて頂きました。企画委員の皆様には追ってご連絡いたしますので、委員長の指揮のもと、企画委員会を開催して頂き両事業の内容を定めていただくことになります。その他の委員(例 総務・記念誌・会場司会等)については、追って決定することになります。

②本日、次年度の例会での食事に関して、皆様へアンケート用紙を配布させて頂きました。少しでも会員の皆様の満足度を高めるべく、食事についてご希望がありましたら(実施可能か否かはさておき)是非ご回答ください。

社会奉仕委員会

長森委員長

次回5月11日(金)の例会を変更して、13日(日)に清掃登山例会を予定しています。今回は朝9時40分忠霊塔公園に集合して足立山山麓を清掃いたします。清掃後に近くでの懇親会(カーサロマーノ)と駐車場(増田クリニック内)も準備していますので、多数のご参加をお願いします。

米山記念奨学会「特別寄付金」

例会当日寄付者

・荒木 英生 ・原田 光久

合計 累計金額(2017-18年度)

6,000円 455,000円

地区研修・協議会報告

日 時：4月21日（土） 13時～17時50分

場 所：アクロス福岡（福岡市天神）

ホストクラブ：門司西 RC

◎全体会議

角南 次年度会長



2018～2019年度の地区協議会は、総勢800名以上、小倉 RC より12名が参加されました。安増ガバナーの挨拶の後、岡野ガバナーエレクトが、次年度の RI の方針・および地区の方針を説明されました。

RI のテーマは、be the inspiration インスピレーションになろう、というものです。インスピレーションとは多様な理解ができますが、「ロータリアン1人1人が素晴らしいひらめきを持ってほしい」ということだと思います。

RI の優先項目は、①クラブのサポートと強化 ②人道的奉仕の重点化と増加 ③公共イメージと認知度の向上で、特にポリオの撲滅に向けたカウントダウンの年にしたい、とのことでした。

地区のテーマは、「寛容と思いやり、そして和の心」です。皆が心を1つにしてクラブという神輿を担いでいきましょう、と話されました。

その後、井出研修リーダーにより、当地区の現状と課題の説明がありました。①会員数や1クラブあたりの平均会員数は、比較的良好であるが、女性会員や若手会員が少ない ②青少年奉仕活動は活発であるが、他方で寄付額が少ない ③マイロータリーへの登録が少ない という特徴があるようです。

また、穴井パストガバナーから、各クラブごとに数値目標を定め、PHS（ポールハリスソサイアティ）の会員を増強してほしい、とのことがありました。ただ、岡野ガバナーは、「問題点を改善することも重要ですが、クラブファーストであり、クラブの良いところを伸ばすことが、活性化につながるのではないかと」話されました。

◎会長幹事部会 加藤(守) 次年度クラブ奉仕委員長



まず、岡野ガバナーエレクトは、「クラブファーストでやっていただきたい」と話されました。それぞれのクラブが持つ歴史や個性を尊重した運営を第一に求められました。また、「計画委員会」を設置して、時代の変化やニーズに対応し、持続的な計画を立ててクラブ改革し、その持続発展につなげて欲しいと話されました。

続いて大島パストガバナーから、日台親善会議についてお願いがありました。「日本と台湾の RC の交流は以前から盛んですが、2020年3月6日に福岡市で日台親善会議が開催されます。今回のホストは第2700地区ですのでご協力を宜しくお願いします。」とのことでした。

最後は、地区危機管理委員長の大楠正子さんの講演でした。内容は以下の3点です。

①この様な厳しい時代ですから、それぞれのクラブの危機管理をしっかりやっていただきたい。

②青少年国際交流に伴い、留学生のドアツードアで起こる好ましくない事態全てを危機と捉え、NPO 法人を立ち上げ損害賠償保険に加入している。

③一般社団法人「全国青少年委員会」を設置し、IAC、ロータクト、ライラ活動時のハラスメント、災害、事故等にもしっかり備えている。

次年度のことを考えてか、会場には重たい空気が漂っていました。

◎会員増強部会

中村 次年度会員増強委員長



鈴木委員長と小山田カウンセラーのお話の後、ほとんどがビデオによる会員増強啓発であった。方針として、「クラブが第一」との考えを基に、「クラブファーストの具体的実行」を掲げ、「会員を増やす」、「クラブを強くする」、「クラブを維持する」の3つの具体的な実行により、楽しいロータリーを実現していく。その為のセミナーを7月6日（金）に TKP ガーデンシティ博多にて開催する。各クラブ会長・幹事・増強委員長等クラブ3名のご出席をお願いしたい。

地区としては、委員を20名程にして皆さん方へのアドバイザーとして頑張るとの事である。会員増強・維持の為に日本のロータリー情報委員会から発行された「ロータリーへのお誘い」「今日からのロータリアン」を購入していただき、増強・啓発に努めていただきたい。

◎広報・IT・会報部会

豊川 次年度クラブ会報委員長



RC の活動を内外共に先入観感なく正しく知ってもらうため、「共感を育むクラブ広報実現への挑戦」を行っていき、というお話でした。そのための基本方針として、地区では、①公共イメージと認知度の向上を図るため積極的に对外広報に取り組む。

②クラブや地区委員会の事業、ガバナー事務所からのお知らせなどを会員に早く伝えられる体制を構築する。

③マイロータリーセントラルの復旧に向けてのクラブサポートを強化する。

の3点を掲げています。伝える戦略的優先事項は、ロータリー会員の資質である、親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップであり、それを基本として私たちが責任あるリーダーとして、世界の切実な課題を解決するために行動しているという事実です。

地区の方針として、具体的にクラブ会員に広報すべき内容は、会報・ガバナー月信・ロータリーの友を利用しクラブの雰囲気伝えることでそこから、ロータリー活動の活性化、また退会の防止につなげていきます。

また、外部広報の具体的手法は、TV、ラジオ、新聞等のメディアまた地区やクラブのHPを利用しロータリー活動を知ってもらい、クラブの価値や成果を正しく伝え、クラブ会員の意義を伝えることで、最終的にはクラブの会員になっていただくことまで持っていきたいと考えます。

感想として、ソーシャルネットワークの発達による情報伝達の形が急速に変化してきており、クラブの価値を正しく伝えるためにはかなりの戦略性と周到さが必要だと感じました。

◎職業奉仕部会



伊与田 次年度職業奉仕委員長

まず地区職業奉仕委員の紹介があり、続いて職業奉仕について解説がありました。その後、事前アンケートの報告、具体的な活動の発表があり、さらに大山泰弘氏のビデオ放映がありました。放映内容は障害者を雇用している会社社長のインタビューですが、雇用を通じて理

解した職業の価値そのものについての話でした。今回、初めて職業奉仕委員になりましたが、職業奉仕はなかなか理解しづらいと感じています。曖昧に理解したつもりでも、どう活動すればいいのか？迷っています。地区協議会で発表された具体例についても、それは社会奉仕じゃないかと質疑応答で意見している会員もいました。様々な意見もあるようですが、じっくりと考えてみたいと思います。

◎ロータリー情報部会

荒木 次年度ロータリー情報委員長



富田カウンセラーのもとでロータリー情報部会は行われた。まず、定款細則の記載事例を引用して情報委員会の役割についての説明があった。次に地区情報委員会の年間活動方針が説明され、岡野次期ガバナーのテーマ「寛容と思いやり、そして和の心」を各クラブが理解し実践するための情報を発信

すること、特に職業奉仕の理念を浸透させ、四つのテストは職業サービスの行動方針であることを明記し普及に努めることが発表された。地区では具体的にはロータリー研修会を開催する他、地区情報委員長会議、地区情報委員研修会が開催される。

これまでの3年毎の規定審議会に加えて、新たに毎年決議審議会を開催するようになった。これはまず各地区内で議案を出し、地区で審議採決して提出された議案を地区代表議員がオンラインで審議投票し、採択されたものについてRI理事会が審議する制度である。

◎社会奉仕部会

二村 次年度社会奉仕委員長



基調講話：穴井元昭カウンセラー
「ロータリーと社会奉仕」

1905年 RC誕生(仲良しクラブ)
一業種一会員制、定款；①会員の相互扶助 ②親睦

1906年 ロナルドカーターの入会
他の人たちのことも考えなければいけない

公衆便所の設置運動(RC最初の社会奉仕活動)

1907年 3代目の会長にポールハリスが選出される
世界は変化している、RCも変化していかなければ

1908年 アーサー・フレデリック・シェルドンの入会
職業向上奉仕の考えの提唱

1917年 ロータリー財団が生まれる
社会奉仕をクラブ主体とするか、個人に任せるとの論争

1920年 東京RCが創設

1923年 セントルイス大会で、決議23-24が採択

1927年 ベルギーのオステンド大会で奉仕が四大奉仕部門に分類

1932年 ハーバートテイラーが「四つのテスト」作成
1943年 「四つのテスト」が正式に採用される

1947年 ポール・パーシー・ハリス 没

次に、ロータリー財団の歴史と財団補助金

ロータリー財団補助金を活用できる know-how を各クラブへ

最後に社会奉仕の理解を広めるために、出前卓話を提供する。

◎青少年奉仕部会

松本 次年度青少年奉仕委員長



まず、田村委員長より、当委員会の存在意義は「未来のロータリアンを創る」ことであり、このことが活動の基本方針と位置付けられる旨説明された。そのために当地区では ①IAC 委員会 ②ローターアクト委員会 ③RYLA・青少年育成委員会 ④国際青少年交換委員会 が連携を取りながら活発な素晴らしい

活動を行っている。この上記 4 委員会の学友が連携を取り合う青少年学友が「学友クロスプロモーション」の概念で、ロータリー財団学友や米山奨学生学友とも交流を広げていく構想を紹介され、さらに、プロジェクトを終えた青少年たちの「その後」をフォローアップするため、3 回目となる「青少年交流フェスタ & RYLA セミナー」を次年度も開催したい旨抱負が述べられた。その後、上記 4 委員会次年度委員長及び危機管理委員会大楠正子現委員長からそれぞれ各 5 分から 10 分程度活動方針や活動計画が発表された。

特筆すべき活動（計画）を以下のとおり報告する。

- ① IAC 委員会（林寛之委員長）：2019 年 4 月 28 日（日）年次大会と合わせて九州 4 地区（2700・2720・2730・2740 地区）の主催で第 7 回全国 IAC 研究会を開催する。
- ② ローターアクト委員会（西田博委員長）：2019 年 4 月 28 - 29 日第 31 回全国ローターアクト研修会が福岡で開催される。
- ③ RYLA・青少年奉仕委員会（井上明秀委員長）：1980 年にスタートした地区 RYLA セミナーを 2019 年 6 月に 1 泊 2 日で開催したい。
- ④ 国際青少年交換委員会（末松孝一委員長）：2018 - 2019 年度は長期交換留学生 8 名の派遣と 9 名の受入れを行うこととしている。
- ⑤ 危機管理委員会：IAC・ローターアクト・RYLA の活動のなかで生じた事件・事故に対応するため、今年 1 月から賠償責任保険が開始した。この保険は当事者の青少年はもとより RC 役員・担当者や委員会委員に対する管理監督責任にも対応できるとのことである。

◎国際奉仕部会

菅原 会員



報告の前に予備知識として一言申し上げます。ICS と言うのは国際社会奉仕、つまり International Community Service の頭文字をとったものです。昔は WCS と呼んで RI のプログラムにありましたが、今から 4~5 年前位に削除されました。しかし、第 2700 地区では ICS と名前を変えて継続して活動をしています。活動の資金は、地区内の全会員から 1 人 1,000 円の浄財を集めて、年間約 315 万円の予算で活動をしています。活動の目的は東南アジアの恵まれない国に対して援助する事で、親善と平和を推進する事です。

2015~16 年度の活動実績としては、

- ① フィリピンの 3810 地区に対して、3,000 人を対象とした移動図書館（実質的には学校）を建設しています。3 年間で 210 万円、年間 70 万円を支出しています。主管は荻田 RC。
- ② フィリピンに於いて、インフルエンザの予防接種を実施しています。総額 40 万円を支出し、主管は鳥栖 RC と小倉南 RC の共同事業。

③ フィリピンに於いて、盲学校の寄宿舎改築と空調設備の支援を行っています。主管は宗像 RC と福岡 RC の共同事業。

④ ネパールに於いて、大地震後の水と衛生関係を支援し、総額 208 万円を支出しています。主管は福岡東南 RC。

⑤ ネパールに於いて、ヤナ RC とタイアップして地震後の学校給水施設を建設しています。因みに過去に 7 校の学校を建設しているそうです。総額 70 万円の支出で、主管は行橋 RC。

⑥ ミャンマーに於いて、口腔衛生の為歯磨きを推奨、推進されました。総額 40 万円の支出で、主管は糸島 RC

⑦ タイに於いて、伝染病予防の為、日本製浄水器の提供を行っています。総額 40 万円の支出で、主管は浮羽 RC。

以上が支援事業の実績ですが、各クラブに持ち帰って相談の上、大きなプロジェクトを企画し、ICS の予算を使って欲しいとの事でした。

◎ロータリー財団部会



高山 次年度国際奉仕委員

バリー・ラシン RI 会長は、2018-2019 年度の最大の目標として、ポリオ撲滅を挙げています。ロータリー財団委員会としては、バリー・ラシン RI 会長のテーマに沿って、ポリオ撲滅に対して皆様にご理解ご協力をお願いする次第です。

地区補助金は地域活性化のために、グローバル補助金は国際親善・発展途上国の地域活性化に対して利用されています。

今年度、岡野正敏ガバナーエレクトは、「寛容と思いやり そして和の心」のメッセージを発信されました。このメッセージこそが第 2700 地区が一丸となってロータリー財団に関心を持っていただけるチャンスだと捉えています。

寄付には「年次基金寄付」、「恒久基金寄付」、「使途指定寄付」の 3 つがあります。「年次基金寄付」は、3 年後に寄付額の半分が地区に戻ってきます。これは地区補助金とグローバル補助金として、「恒久基金寄付」は将来のロータリー活動の為の信託として、「使途指定寄付」はポリオプラスや平和フェローに対する活動資金として利用されます。

今後は、8 月 4 日（土）補助金セミナー、1 月 12 日（土）資金管理セミナーを予定しています。この 2 つのセミナーに出席しないクラブは、次年度（灘谷年度）の補助金利用資格が無くなるということです。

◎米山記念奨学部会

村上(充) 次年度米山記念奨学委員長

（代読 坪根 次年度幹事）

* 米山記念奨学事業は、日本で学ぶ外国人留学生を対

象として、学業と人格識見に秀でた留学生を選抜し経済的に支援する一方、世話クラブ・カウンセラー制度を通じて日本のロータリーとの間に、強い絆を結び、日本に対する深い理解と愛着を備えた知日家・親日家に育てて、世界に送り出し、国際親善と世界平和に貢献することを狙いとする事業です。

＊奨学事業における地区委員会の活動目的と内容は、3つのキーワードに整理できます。

1. 「選ぶ」…指定校推薦制度による奨学生選抜
2. 「結ぶ」…世話クラブ・カウンセラー制度により絆を結ぶ
3. 「繋ぐ」…卒業後の活躍により日本と国際社会を繋ぐ

＊米山記念奨学事業の成果を実り多いものにするため

1. 事業の意義の啓発と寄付の増進
2. 優秀な奨学生の選抜と育成
3. 世話クラブとカウンセラーによる奨学生交流・育成活動の支援

第 2700 地区の米山奨学事業の取り組みは全国でも先進的だが、特別寄付金の寄付者割合は全国最下位となっている。

＊特別寄付者割合の増進のための工夫をお願いしたい。

- ・定額特別寄付の一括集金 (年会費に組み込み)
- ・少額寄付促進の検討 (当クラブでは実施中)

洗心会 報告

日 時：5月8日(火) 18時30分～

場 所：福銀北九州クラブ

参加者：松元、荒木、合馬、天ヶ瀬、大迫、緒方、加藤(守)、河野、木曾、角南、杣、高橋、高山、辰巳、坪根、西村、濱田、廣渡、二村、古江、松永、松本、村上(公)、村上(充)、八尋、山口、山本(雄)、渡邊、大木、長谷川、青木、庄山、伊井、城、宮島、金子、松田、福島(みずほ証券)、事務局



当日は小雨が降りしきる悪天候ではありましたが、出席者は近年では最多となる 39 名となり、18 時をまわり会場に訪れる会員にウエルカムドリンク(日本酒)が振る舞われるなか、酒焼酎などを持ち寄り参加しました。まず大迫出席親睦委員長より開会のご挨拶をいただいた後、辰巳ロータリー情報委員長より「一隅を照らす是国の宝也」という比叡山の石碑に刻まれているという言葉の意味を講和していただきました。ロータリーの特色である職業奉仕は、会員一人一人が自分

の職業に精励することで社会全体に奉仕するという考え方であり、この言葉はまさに一人一人がそれぞれの持場で明かりを照らして、社会を明るくするという最澄の教えに通じるものがある、という貴重なお話を賜りました。その後、宮島会員、金子会員、松田会員の3名の新会員と、新会員候補者の福島様(みずほ証券)が紹介され、荒木会長の音頭による乾杯とともに歓談へと進みました。



会員がそれぞれ持ち寄った酒、焼酎も多数にのぼり、料理の寄せ鍋に舌鼓を打ちながら和やかな雰囲気では

進行していきました。会場を提供していただいた古江会員からは、ご厚意によりビール 39 本に加え、もつ鍋も別途ご用意頂き、会員一同大変美味しく頂戴いたしました。古江会員には心より感謝申し上げます。

宴もたけなわとなるなか、恒例のオークション開催となり、持ち寄った酒、焼酎の売上 28,000 円がニコニコ献金へ寄付され、無事に会はお開きとなりました。会員同士の友好を深める意味でも大変有意義な会であり、次回開催を楽しみにしながらそれぞれ帰路につきました。

【報告者：城】

寄贈酒

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ・松 元：泰蔵 | ・荒 木：C、七窪 |
| ・合 馬：司牡丹 | ・天ヶ瀬：久寿玉 |
| ・緒 方：三井の寿+14 | ・加藤(守)：耶馬美人 |
| ・河 野：野うさぎの走り | ・木 曾：日の丸 |
| ・角 南：天心 | ・高 橋：貴 |
| ・辰 巳：おんな泣かせ、播州一献 | |
| ・古 江：ビール 39 本、もつ鍋 10 人前 | |
| ・山 口：ふくろう | ・山本(雄)：貴 |
| ・廣 渡：鍋島 | ・二 村：喜多屋 |
| ・松 永：山ねこ | ・松 本：繁樹 |
| ・村上(充)：悠々 | ・八 尋：寒山水 |
| ・渡 邊：茜霧島 | ・長谷川：喜多屋 |
| ・青 木：滝のしずく | ・庄 山：天心 |
| ・伊 井：繁樹 中汲み | ・城 百助 |
| ・宮 島：芋、安田 | ・福 島：獺祭 |



5月13日(日) 奉仕例会
・春の清掃登山(足立山麓)

41,054円 : 累計金額 615,312円

親睦活動委員会

洗心会のおつりと、お酒のオークション収益をニコニコします。

春の清掃登山報告

5月11日(金)の例会を変更して、今回は初めて足立山麓の清掃登山例会を予定しました。しかしながら当日はあいにくの雨模様のため、集合した忠霊塔公園周囲中心に範囲を変更して清掃を行いました。それでもIACの学生さんたちと一緒にゴミ袋一杯7個分のごみを収集しました。その後、皆そろって妙見神社にお参りしたのち(雨中婚礼のお嫁さんに遭遇!)「カーサロマーノ」にて、希望者で懇親会を行い現地解散となりました。次回は是非目的地の足立公園展望広場(望玄荘隣)まで到達したいと思います。雨の降りしきるなか参加された皆様、おつかれさまでした。

【報告者: 増田】

【次回例会予告】

5月25日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “我らの生業”
- ・会員卓話

日本銀行 北九州支店長 緒方 公一 氏
『日本銀行の役割と北九州経済』

会長の時間

荒木 英生 会長

本日は清掃登山例会です。あいにくの雨模様ですが、新緑を楽しみ清掃をしましょう。公園に加えて車道も清掃しますので、くれぐれも事故、怪我が無いように気を付けて作業をされてください。



出席報告

合馬 幹事

2017年7月1日: 63名でスタート

	会員数	出席者数	メイクアップ	出席率
当日の出席	67名	16名	—	28.07%
先週の出席	67名	40名	26名	98.39% 修正後

◆ゲスト 12名

- ・IAC(小倉工業高校: 顧問2名 生徒8名)
- ・巖 子龍 氏(米山奨学生)
- ・ご家族 1名(角南会員のご家族)

◆ビジター 34名(サインのみ)

